

サークル紹介

音楽の輪を広めたい

北通リズムハウラーズ

昭和45年の、会社（北陸通信工業）創立20周年記念式典後の従業員アトラクションに、音楽好きの仲間がそれぞれ得意とする楽器を持ちよって歌謡曲の伴奏をしたのが結成のきっかけという。バンドリーダーの飯塚秀夫さんにサークル活動の話聞くことにした。

まず、誕生して10才になるまでのリーダーとしての苦心談についてお聞きしたところ『単に歌が好きだというだけで集まったズブの素人から始めて、一応バンドのカッコをつけるのに技術面はもとより、』



チアガール求む!!

明希野球部

昨年度の間屋センターリーグ戦で優勝をした明希野球部の朱戸監督とエース三浦投手に話を聞く。創設されて12～3年、監督になって2年目という朱戸さんにまず、リーグ戦11勝1引分けという素晴らしい戦績で優勝できた原因はとお聞きしたところ、細かく記されてあるデータノートを開きながら『一試合一試合を大切に、1人1人が一生懸命プレーしてくれたこと。そして、たとえエラーやミスがあっても叱らずに、むしろ思いきりやれという励ましを与えたこと。それが選手には絶えずやる気を起こさせてきた。ほとんど試合中は監督からはノーサインで、選手の判断にまかせてきた』という。それだけに選手の方は真剣にならざるを得ないし、自分勝手なプレーも許されない。戦力の中心として投げぬいてきた三浦投手も絶えず冷静さを失わずに、IチームのK選手には同点のホームランを打たれた……というように相手チームのバッターの特徴をよく記憶していたという。そして中盤戦のMチームに逆転で勝った時から、今年はひょっとしたら……という気持が全選手におこってきた。チームの平均打率は3割以上ベスト10には3人も入り、ホームラン王、盗塁王となかなか個性豊かな選手の多いチームであるが、部員が現在14名で、もっと選手の層を厚くし

最初は楽譜が読めなかった苦労があった。しかしそれも場数をふんで、慣れてきたことでなんとなくカッコらしいものが出来あがってきた』と言われる。それにメンバーのそれぞれの仕事の関係から合同で練習する時間がもてない悩みもあったという。ある時に、新入社員の歓迎パーティーの本番で一人がトチって演奏が途中で止まったりしたこともあり、冷や汗をかいたことも、今は楽しい思い出という。こんな苦労や失敗の中にも、サークル活動を通じて、ストレスの解消や気分転換にもなり、仕事にもやる気が出てくるという。そして嬉しいことに、音楽に関心をもってきた第二のバンドが育ちつつあるとのことである。

バンド名は社員から広く募集されて名付けられたそうであるが、「ハウラ」とは仕事柄、電話用語で遠ばえという意味で、会社幹部の理解もあり、社員全員から親しまれているサークルとのことである。

10年もたったこの頃では、レパートリーも巾広く歌謡曲からハワイアン、ロック、ジャズとなんでもこなせるバンドとして、ロータリークラブのパーティ、問屋センターの諸行事、お得意さん等から頼まれるクリスマスパーティなど、各方面へ出張出演し喜ばれているそうです。

最後に飯塚さんは、部員のモットーとして『協調（バランス）』が大切であり、サークル活動だけではなく、仕事の上でも社会人として大切なことだと強調され、これからは皆んなから好かれるバンドを目指して頑張りたいと語っておられた。



たいと朱戸さんは話す。それだけに、朝まじめに試合に出てきた選手は必ず平均して使うことに心がけ、試合に慣れさせるのに努めたと云われる。早朝野球に限らず大切なことであるが、部員全員が心がけていることは「時間を厳守する」こと、そして、「野球は野球、仕事は仕事とはっきりけじめをつけて、両方に情熱を傾けること」だそうである。業界関係等の他流試合も含めて、年に10試合程の試合もスタートを切り、プロみたいな訳にはいかないが、「ランニングで足腰を鍛えて、打撃練習に時間をかけた成果が試合にプラスになるといい」と、早くも今年のリーグ戦もねらっていくという意気込みが、お二人の話の中にありありと感じとれた。

協同組合 金沢問屋センター

第16号 1980年4月発行
 協同組合 金沢問屋センター
 発行者 小川 甚次郎
 金沢市問屋町1丁目
 電話 37-8585



終点の米原ジャンクション。手前が北陸自動車道路、上方名神高速道路 北国新聞社提供

近うて遠きもの 遠くて近きもの

協同組合 金沢問屋センター
 専務理事 金子 哲夫



北陸自動車道の敦賀—米原間46.6キロが、この4月7日に完成、名神高速道路と接続した。去る、昭和41年に日本海側の動脈として北陸自動車道が計画されてから、あしかけ15年、47年金沢西—小松インター間が開通してから8年目である。

高速自動車道については、当金沢問屋センターを設立するに際しても、そのもたらす影響を考慮し立地条件の要点として折込であることから、今更どうの論議することではなからう。

もともと、金沢を中心として北陸3県（富山県は若干条件が異なる）は経済的には関西圏と結び付きが強く、特に流通業界は全取引額の60～70%を関西（京阪）方面に依存しているところから、自動車道の接続は歓迎すべきものである。

只、大阪とは3時間半から4時間、名古屋とは3時間から3時間半で結ばれるということでは、流通面での機構合理化・簡素化に役立ち、商圏の拡大は必至であろう。

われわれ地方での卸業者にとり、京阪・中京の同業者からの攻勢が予想されるが、反対にわれわれからの京阪・中京への進出も容易になった。同じような立場の岡山や広島においては、関西地区の大資本に地元業者は大いに苦しんでいるといわれるが、岡山でも広島でも飛躍的に業績を伸ばした例も亦多い。

肝心なことは、従来の取引先との心の通った実のある商いを、一層発展させることであろう。

現在および将来にわたって卸売業の伸びる要因は情報の収集・伝達を素早く、正確に行なうことであり、自動車道による時間的な合理化をプラスに役立たせることである。

かの、枕草子のなかで清少納言は、『近うて遠きものは思はぬ同胞・親族のなか 遠くて近きものは人のなか』と、人と人の仲を見事に言い当てている。北陸高速自動車道の名神高速道路との接続も、結局はわれわれ取引先との間のつながりの在り方によって、近くもなり遠くもなるということであろう。

期待する新入社員の諸行事



盛大な歓迎式!

盛大な歓迎式! 4月2日午前10時より問屋会館ホールにおいて、来賓14名、事業主32名のご来席を得て、47社196名(男91名女105名)の新入社員を迎えて挙行了した。小川理事長の挨拶。小堀金沢公共職業安定所長・政二石川婦人少年室長・今井河北台商業高校校長より励ましの祝辞をいただき、丸与商事(株)の中口哲夫さんが先輩社員を代表して歓迎の辞を述べ、島崎(株)の北川哲也さんが新入社員を代表して答辞を述べた。式終了後、北陸交通旅行社より柴田美智子さんをお招きして職場体験談を聴き、勤続5年のバスガイドとして喜びと苦しみを具体的な体験を挙げ、感銘をあたえた。新入社員には記念品として県より木製インテリア・ハンガーが、問屋センターより男子にはパーカーボールペンを、女子には加賀友禅の財布と合わせ鏡セットが贈られた。



うまくやれるかなあ? 電話教室!

うまくやれるかなあ? 電話教室! 新入社員のかたたちが会社で1日も早く役立ってもらわねばならぬのがビジネス電話の応待とマナーである。家庭で親戚・友人らとの電話応待とは違うだけにベルが鳴っても受話機をもつことに戸惑いがちである。そこで新年度事業ではあるが3年前より入社早々の3月下旬に実施している。本年は3月26日より28日までの3日間3回に分けて実施した。年毎に受講者が増加の傾向で従来の2日間を3日間とし、受講時間は午後1時から4時までとして募集したところ、予想をはるかに超え、140名の申込みがあった。金沢電話局より専門職員が実技指導に要する電話機お

よびマスター資料のパンフを持参、配布の上、懇切な指導を行い、最後に8ミリ映写によって視覚に訴えつつ応待マナーの良し悪しを学ばせた。



若さみなぎる真剣な研修会!

若さみなぎる真剣な研修会! 4月9日より11日まで2泊3日間、医王山スポーツセンター大研修会において、財団法人修養団より2名の講師を招き、申込み24社88名の参加で9日午前9時に貸切バス2台に乗車出発し、10時30分よりの開講式には高桑労務委員長・久保スポーツセンター所長の激励の挨拶を受け、午後1時30分より研修が開始された。内容においてもっともユニークな指導は「童心行」と称して学歴・年齢等の差別心を除去し、全受講者を童心に帰らせ、与えられた職務がいかに単純であっても素直に受け止めて遂行する心構えと、大卒も高卒も同じスタートの仲間であることを意識させるため、幼稚園児の歌う童謡・遊戯をさせてゆく。

また職場において、いかにチームワークが大切であるかを身をもって実践し知らしめるため「村づくり」と称して1班9名10班編成して、それぞれ村の名称・村長・助役・書記等を1村全員で話し合い、考え、決定し、実行してゆく。テーマは講師が示す。最終日には感想文を書かせ、結果報告書に添えて事業主へ届け、今後の研修参加の参考にしてもらった。感想文を読んで特記しておきたいのは、本年度の場合、全受講者が研修の具体的な喜びと今後の職場・家庭に多少とも生かしていきたい意欲を述べていたこと。誤字が殆んどなかったこと。文字が乱雑で読みにくかったのは僅か3名しかいなかった。

(以上 大橋記)



昭和55年新入社員名簿 50社・202名

(本名簿は歓迎式・研修会に参加した申込書によるもの)

事業所名	氏名	事業所名	氏名	事業所名	氏名
荒木商事(株)	弥村 昭二	竹村 礼子	北村電機(株)	北野 光浩	
	松野 正代	能瀬 百合子		川向 正昭	
	山本 幸代	小川(株)	川下 隆司	高魔 由美	
	森 千景		若松 茂夫	亀田 一美	
石 織(株)	裏野 雅広		加藤 陽一	丸谷 信一	
	篠田 実		甲本 祐司	共栄電機(株)	
	由久保 進		木谷 恵子	末森 恒夫	
	橋本 普介		徳丸 直子	山中 義信	
	板谷 光雄		平村 早苗	耕田 直樹	
	北河 由春		奥田 祥子	北川 貴浩	
	池村 登		北川 ルリ子	村田 隆嗣	
	高松 利明		隅 弘子	杉村 厚子	
	小高 輝美		杉本 外茂子	多田 則子	
	佐々木 ひやび		坂根 朱美	辻口 美恵子	
	山田 睦子		堀 多岐子	藤 由紀美	
	南部 優美	(株) 榎村	千馬 映子	南 明美	
	佐藤 まき		小原 薫	宮本 幸美	
	馳部 弘美	川上商店	角村 知広	共栄商会	
	伊藤洋品(株)		辰己 由紀子	安田 孝一	
	東崎 美郷		金沢度量衡	北川 勝	
(株) 伊藤	池田 紀子		山本 浩二	三谷 長生	
	高島 ゆき子		紙谷物産	越井商事(株)	
	吉村 勝子		吉田 智	(株) 寿商会	
一恵商店	上坂 豊美		池田 努	浅野 直樹	
糸生(株)	下川 徳良		増田 実	山岸 豊	
	上前 欣也		金子 寛	島野 弘和	
	島田 真弓	金沢機工(株)	名竹 要子	板倉 紀代美	
	相川 京子	(株) 川助	山本 昭義	谷野 幸枝	
	杉本 佳世子		川端 充可	佐々木 典子	
	岡本(株)		木田 里美	島崎 外志江	
小川商事(株)	福多 優美		谷 恵美子	(株) コシハラ	
	伊藤 邦明		宮本 典子	坂井 敦子	
	平野 英一	北島(株)	中川 友美	長谷 和加枝	
	林 雅代		長岡 初江	喜多 都志重	
				三和通商(株)	
				中島 康志	
				南部 茂雄	
				青野 義正	

事業所名	氏名	事業所名	氏名	事業所名	氏名
島崎 株式会社	北川 哲也		宮崎 千佳	丸一商店	平田 敬子
	荒木 智江美		才野 祐里子		高田 外美
	大井 富代	福助 株式会社	岡本 裕子	丸昌	土屋 敏明
	越沢 寿世	堀川商店	山崎 宏志		吉田 真美
	山田 洋子		黒田 恵子		林 志美
	山本 末美		山口 美和子	松本紙店	木谷 欣嗣
須田 株式会社	杉本 太一郎		竹下 淳子		幸村 夕子
	東 律子	北陸通信工業株式会社	宮腰 修	丸宮商工	中島 好美
	山本 広美		高野 敏久	明希 株式会社	坂本 享
田村勝治商店	永井 敏経		徳田 和彦		中川 実
	千木良 康具		中田 喜己		斉藤 克治
	土田 一江	丸治服飾	吉田 久夫		藤田 伊佐男
	西井 富美恵	丸与商事株式会社	壬生 和美		辻 裏晃治
	大地 由美		東山 元威		高田 裕美子
タマイ	青木 信一		高桑 博男		西村 志美
	瀬戸 千浩		普和 欽也		櫛比 外貴江
泰和ゴム興業株式会社	梨野 洋一		田川 賢治		能崎 外貴江
	河口 俊之		伊藤 美智子		南野 真裕美
	上高 信二		下 美奈子		北浦 政子
太洋興業株式会社	中村 敦子		橋場 外美枝		中島 美千代
	西尾 能里子		山崎 栄美子		北橋 妙子
たなかや	沖野 秀吉	丸菱	吉村 智恵子	山和 株式会社	森下 和彦
	浅野 豊		山田 博		喜多 悦子
ナカダ 株式会社	中山 勉		鶴見 求		竹山 麻由美
	中田 雅子		藤田 哲文		宮下 幸美
	長谷川 ひとみ		白沢 孝次	矢部物産株式会社	竹田 弘子
塔島 株式会社	野竹 満		原田 光雄		寅山 珠美
	石崎 外枝		岡田 悟	八木熊渡	渡辺 和徳
富木医療器株式会社	吉田 和文		加藤 元次	吉野利工具	山口 充宏
	北島 孝博		竹内 伸二		
	大野 伸子		黒越 雅彦		
	吉田 浩子		土田 雅典		
東和工業株式会社	八橋 一也		中川 信久		
	国分 祐二		北村 恭一		
	辻口 照子		寺田 修		
	南川 善宏		清水 一栄		
東 株式会社	高野 俊之		末岡 真美恵		

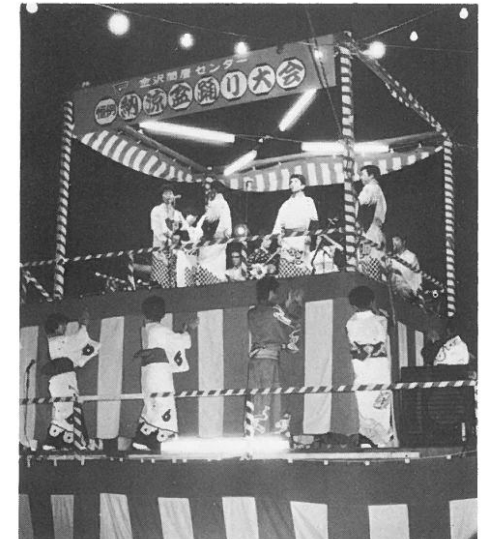
協同組合金沢問屋センター 昭和55年度 福利厚生事業計画

第13回 商社対抗野球大会
日時 5月12日～7月下旬 午前6時開始
場所 金沢問屋センター球場



第10回 麻雀大会
日時 6月29日(日) 正后開始
場所 金沢問屋町会館 2階ホール

第13回 納涼盆踊り大会
日時 7月26日(土) 午後7時
雨天時7月28日(月) 〃
場所 北陸銀行横 第一共同駐車場



第6回 ソフトボール大会
日時 9月14日・15日
場所 金沢問屋センター球場

第8回 社員園遊会
日時 10月4日(土) 午前11時～午後5時
場所 A公園 及び 歩行者道路上

健康診断
日時 8月25日・26日・27日
午前9時30分～午後4時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール

成人病検査
日時 8月28日・29日・30日
午前8時30分～12時
場所 金沢問屋町会館 2階ホール



お茶教室
毎週水曜日 午後5時より7時迄
会館2階和室 裏千家

お花教室
毎週金曜日 午後5時より7時迄
会館2階和室 草月流

入部御希望の方は、事務局へ申込んで下さい。

新規事業 国鉄と共催でミステリー列車を運行
詳細は後日御案内します。
日時 7月27日(日) 午前7時～午後5時頃
行き先 ?

